

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・毎月、四半期、半期、期初ごとなどで、適宜、経営者が園の管理者や関係部門長に直接経営状況や今後の方針を説明し情報の共有を行っている。 ・部門長は経営目標を理解し、全従業員に向けて共有し、認識が一致するように働きかけている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守規程とマニュアルを制定、入社時並びに不定期に重要性を周知し、マニュアルはいつでも確認できる場所に保管をしている。 ・職場毎に個人情報管理とコンプライアンス研修を実施し、従業員への啓発、徹底を行っている。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引を行うため「契約規程」を定めており、その重要性を社員に周知しており、特に関連業務を行う社員には、所属長から定期的に周連教育を行っている。 ・契約規程の内容も適宜見直しを行っている。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・各園長(リーダー)が、保育園事業による周辺社会との関わりや生活環境に及ぼす影響(園内遊びや散歩などによる騒音発生の可能性等)を考え行動、地域コミュニティと定期的に連絡を取りあっている。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・情報保護に関する教育を行い、業務上知り得た情報等の保護を、退職後も継続して遵守すべき事を伝えている。								8.2 8.3	9									16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・「特定個人情報等取扱規程」を定め、全従業員に周知・教育している。 ・保育園運営上、個人情報の漏洩防止(職員個人、園児並びに保護者)の重要性を全従業員理解して行動すべく、ルール遵守の徹底を指導している。																		16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・園児保護者の要望や不満、改善提案等の意見を大事にし、双方向コミュニケーションに取り組んでいる。 ・これらの意見(含む苦情)は対応担当者に伝わり対応すべく関係規程を定めて運用している。																	16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・請求書等を紙で郵送していた事業パートナーが、WEB上で請求書の確認ができるようなシステムを導入された場合は積極的にペーパーレス化を意識して切り替えた。					5			8	10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・事業継続計画書(BCP)と「危機管理マニュアル」を策定、災害発生時の園児の命・安全性を確保する事、次に保育園事業の継続を目的に園は運営し、定期的に訓練も行っている。								9	11		13.1					16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・代表取締役の交代に際して、安定した事業経営が継続して行えるよう引継ぎの期間や交代後のフォロー等も十分な対策を行った上で実施した。							8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2		5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別や各種ハラスメントを禁止するマニュアルに定め遵守し、重ねて相談窓口(担当者)を設けている。 ・適宣、研修の受講も行っている。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・休憩時間の確保と残業時間の削減のためデジタル機器活用で業務効率化を進め労働時間の短縮を推進し、精神的にも余裕のある職場環境作りに取り組んでいる。 ・所管が指定する基準値以上の人員配置を実践している。		3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・スタッフ・パート社員)の採用、労働条件でも公正な待遇を行っている。 ・福利厚生面においても、時代に即した適正なものとなるように都度見直しを行っている。				5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・デジタル機器の活用で業務効率化を進め、有給休暇などの取得しやすい職場環境作りを行い、家事や育児、ボランティア活動への積極的参加を推奨している。 ・毎月、残業時間の見直しも行っている。		3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や必要経費を支給するなどして、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。 ・外部での研修を受講した職員から、他の職員への情報共有を行うなどして全従業員の認識が揃うような体制作りを行っている。			4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・従業員の健康維持向上を呼び掛け、健康増進への取組みを推奨している。 ・毎年1回以上の健康診断を行うものとし、掛かる費用は会社で負担している。		3					8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別、年齢などの違いによる差別的待遇はない。(特に定年制度は創業初期に無くした) ・地元の生徒、学生、出産のため離職した母親を積極的に雇用している。			4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・多人数の参加する会議は極力行わず、ウェブ会議開催を徹底している。		3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・WEBで参加ができる研修を積極的に取り入れたり、生成AIの研修を受講することで業務の効率化に繋げている。							8	9.1		11	12							
	21	【プラット企業】 ・プラット企業に認定されている。	●				3	4				8	9		12								

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、園に持ち込まないように対応している。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1	
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、保育園会照明は、LEDを使用している。 ・保育園で使用するエネルギーはオール電気化している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、極力ネット会議とし無駄な自動車移動を控えるなど、CO2排出の抑制に取り組んでいる。		2.4				7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の生活活動においても、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。					6.6									14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・梱包材や段ボール、新聞紙等を園児の工作や遊具用に流用するなど、資材の二次利用推進を行っている。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」、「園庭への散水にプール使用水流用」等を実施している。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・配達用梱包材(段ボール紙)の再利用、再生紙、裏紙利用を推進している。 ・処分の際も地域の工コステーション等を活用している。							9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・園庭で生垣の整備、壁面緑化や園内樹木植栽を積極的に進めている。										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・運営している保育園で、ここ数年活用されていなかった畑を管理する事になり、耕し、野菜や果物等の植物を植えて育てる取り組みを始めている。				6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・運営している保育園の行事等で地域のコミュニティバスを活用している						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●													11.6 11.a	12.8	13				17.2

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・保育園での特に園児の生活時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・様々な人々が使用する前提で園舎は設計してあるが、特に園児の運動能力を考慮し段差を小さくしたり必要な手すり、出入り口に座り椅子を設けている。 ・衛生器具等設備も、園児の年齢により成長を配慮した大きさ・仕様の機器を設置している。									9.1	10	11.7						17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・保育園では自園調理で給食を提供しており、熊本県産の食材を優先的に使うようにしている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7						12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域の一員として、地域の美化活動や自治会活動にも積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・園舎は平屋(1階部分)に設け、園児の運動能力を考慮した非常時の避難行動が支障なく行われる施設としている。 ・BCRや緊急時対応規定を定め、定期的に避難訓練を行っている。 ・従業員には自治体の定めた対応マニュアルに遵守した緊急事態対応マニュアルにより、避難行動実行要領を教育し、園周辺のハザードマップを周知させている。				4							11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・地域の消防署に協力していただき、救急法の研修を職員が受けさせていただくなどの対策を講じている。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場間連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・保育士養成の学校に、インターンシップ受け入れ可能の旨の呼びかけを行っている。			4					8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・保育士養成学校や地元の学生に向けて採用の働きかけを行っている。 ・出産のため離職した母を積極的に雇用している。			4.4					8.5 8.6										17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。